

事業計画書

令和8年度

施設名 横浜市白山地区センター

指定管理者 特定非営利活動法人

建物管理ネットワーク

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報保護の措置について

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

2 指定管理事業に関すること

(1) 指定管理事業計画に対する基本的な考え方

- ① 指定管理事業について
- ② 指定管理事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。）

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

(3) 幅広い年齢層を対象とした指定管理事業の展開に向けた取り組みについて

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

① 基本理念について

白山地区センターは、地区センター利用要綱を基本とし、

- ・安全・安心、快適で清潔な環境づくり
 - ・地域における子育て支援・青少年の育成と生涯にわたる健康づくりの推進
 - ・ホスピタリティー精神あふれる運営による利用者の満足度の追求
- の三つの柱をもって、民間の活力を活かしながら具体化してまいります。

② 予算の執行について

エネルギー価格や物価高騰に伴い、よりいっそう経費の節減に努め適正な縮減と、最小経費で効果的な執行が出来るよう努めます。

収入（利用料、雑収入、指定管理事業、目的外収入）、支出は目標に基づき、指定管理者としての特性を活かした管理運営に努めます。

予算の余剰金が見込まれた場合は、利用者の意見・要望を基に、施設の運営やサービス向上に活かし利用者及び地域還元に活用します。

③ サービスのあり方について

乳幼児からご高齢者まで多くの方が集う施設ですので、公平性を旨としたサービスに努め、どなたにも安全・安心な環境作りを心がけ、満足いただける運営に努めます。

スタッフの多くは、白山地区センターの近隣住民です。その地域力を活かし、情報の発信とニーズのキャッチに努められるよう指導育成し、事業・業務に活用してまいります。

施設の利用・情報提供等も公平さと誠意をもって行い、地域に愛され利用されるよう積極的な対応に努めます。

また利用団体への情報提供の充実、指定管理事業の情報提供の充実、「白山地区センター 私たちの目標」に基づく接客の充実に努めます。

「白山地区センター 私たちの目標」

- 乳幼児からご高齢者まで、誰もが気軽に集える施設づくりをいたします。
- お客様が使いやすい、明るい環境づくりをいたします。
- お客様を笑顔でお迎えし、ホスピタリティー精神あふれる管理運営をいたします。
- 地域の皆様の交流の場としての活動支援と情報提供を積極的にいたします。
また、活動が快適にできるよう、安全・安心な環境づくりをいたします。

1 施設管理に関する基本方針

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方について

白山地区センターは南側に閑静な住宅地が広がり、横浜線沿いには白山ハイテクパークや高層マンションが建ち、昭和40年代に開発された住宅街、自然豊かな農地、駅周辺の新旧様々な商業地区など、特色ある地域が交差する中心に位置しています。

緑区全体は横浜市のなかでは平均寿命、15歳未満の人口割合、外国人人口増減率が共に上位です。このことから健康維持となるもの、生涯の学びとなるもの、青少年の育成に関わるもの、多文化共生の推進につながる情報提供や支援が地域課題であると認識し、運営に取り組めます。

また地域の見守りとして、地区センターは何ができるのか、地域との連携に一層の力を入れ、情報を共有していくことも大切なことと捉えています。

② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

- ・利用者会議やセンター委員会を開催し地域や利用者の声を頂き、PDCAサイクルにより運営に反映させていきます。また、日常運営の中で一般ご利用者のご意見や指定管理事業参加者アンケートなどの提案・感想などを敏感にとらえ、よりよい環境と利用時の便宜充実につなげます。
- ・頂いたご意見・ご提案等に対して、迅速な対応に努めます。
- ・ご意見への回答は、館内掲示をしてご利用の皆様にも公表いたします。
- ・運営上の変更については、ホームページや掲示板・チラシにより速やかに告知いたします。ハード面の改善については、予算と優先順位を考慮して対応し、運営面の改善については、施設の利用基準に抵触しないかを検討し、地域で求められる運営をしていきます。

③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

- ・地域活動をする団体との連携に力を入れ、地域住民の皆様の生涯学習・活動に役立てるような事業を多く計画していきます。
 - ➔ 鴨居囃子・鴨居歴史散歩・獅子舞いなど
- ・地域の商店経営者、農業経営者に協力を働きかけ、事業周知やイベント等に参加していただくことで利用者に喜ばれる事業を展開し、センター未経験の方の掘り起こしを図ります。
 - ➔ センターまつり

- ・地域自治会行事に積極的に参加し連携を深め、相互理解につなげています。
→ 節分祭・桜まつり・各自治体主催のまつり・自治体作品展示など
- ・近隣小学校・中学校・高校の児童生徒作品展示を通じて地域が地元の小中学生や高校生たちの活動を知るきっかけの場となり、地域の子どもたちの育成の一助となるように学校との関わりを深めています。
→ 児童生徒作品展示事業
- ・公益性のある事業（市や区、自治体からの委託や依頼等を受けた健康・福祉・子育て支援・青少年健全育成等）への優先減免利用や協力、また、指定管理事業から立ち上げた事後グループへの優先利用など継続的な活動サポートを行います。
→ 白山健康福祉マージャン
（白山地区民生委員児童委員協議会・鴨居地域ケアプラザとの連携事業）
- ・事業協力の一環として、横浜市の「よこはまウォーキングポイント」のリーダー設置協力を通じて、地域住民の健康作りの活動拠点となり、地区センター未経験者の掘り起こしにもつなげていきます。

1 施設管理に関する基本方針

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

① サービス提供に関する基本的な考え方

安全安心な地区センター利用のため、必要と思われる衛生管理・対策は継続します。地域の広範な方々に公平で豊かなサービス、質の良いサービスを提供するために日々の運営の中でニーズの把握に力を注ぎます。

- ・ホスピタリティー精神の理解と実践に努めます。
- ・館内の掲示板の利用目的を場所ごとに明確化し、案内表示を充実させます。
- ・魅力ある豊富な指定管理事業を計画します。
- ・適正な参加コストを設定します。
- ・地域の回覧・ホームページなど情報発信の充実に努めます。
- ・スタッフ会議による業務報告と情報共有、多岐にわたる研修の実施を行います。
- ・スタッフ接遇研修の充実に努めます。
- ・公平に利用していただくことを理解していただき、誰もが気持ちよく館を使っただけできるよう口頭あるいは掲示にてルールやマナーの順守を周知します。

② 施設の利用に関する取扱いについて

地区センター条例・利用要綱に基づき、利用方法の透明化、公平な対応に努めます。また、運営の基本は保ちつつ利用者の公平性を損なわない範囲で柔軟に対応します。

- ・見やすく誰もが使いやすいホームページで予約方法の利便性のアピールを継続し、Web予約の定着をめざします。
- ・指定管理事業申込方法について利便性を重視した受付方法を継続し、電話による申し込みを多く取り入れ、往復はがきや来館等の省略化をします。
- ・利便性のあるフリー枠を拡大し、予約の単純化につなげます。
- ・抽選時、競合があり当選した団体がキャンセルした場合、落選団体に連絡をします。
- ・利用の少ない料理室の目的外使用を認め3時間枠で使用可能とし他会議室利用時との遜色を排除し、利用率向上につなげます。

③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

地区センターの活性化のためにも、ご利用者の活動の活性化のためにも、個人・団体利用者への相談・調整・助言等の情報提供は公平に行います。

- ・団体の活動活性化の手助けとなる「体験講座」を、共催で計画・実施します。
- ・求められる情報提供については、情報公開規定に基づき公開可能な限り提供し、

活動の支援をします。

- ・「公の場所」として、施設に関わる全ての方々がマナーを守り公共施設を大事にすることを実践します。

④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

ご意見・苦情は指定管理者への期待・関心と受け止め「素早い対応」をモットーに誠意ある対応に努め“運営の質の向上”を図ります。

また、日頃からお客様目線を大切に、センター運営について利用者の理解と信用を得られるよう次のことに努力いたします。

- ・迅速な対応と解決への努力をします。
- ・丁寧な対応と理解を得られる対応と対策に努めます。
- ・反省と、向上心の鍛錬に努めます。

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

① 本年度の経営に関する基本方針について

地域及び長年の利用者と築き上げてきた財産を活かしながら、次の項目を運営方針とします。

- ・地域と施設の伝統を活かしながら、地域に密着した指定管理事業・運営をします。
- ・館の運営に関しては、指定管理者と地区センター職員によるPDCAを行い、丁寧な振り返りをして改善につなげます。管理運営の目標をより効果的に実行するため、NPO法人建物管理ネットワーク本部が地区センター職員を側面からサポートします。また、定例理事会にて情報を共有し、円滑な運営へのバックアップを行います。



- ・地域ニーズに応えるものとして、働く世代に向けた講座・シニア層の地域デビュー講座・親子対象講座など幅広い年齢層へ参加の働きかけとコミュニケーション作りへの支援を継続します。
- ・「利用しやすい、誰でも参加できる事業」として、体を動かすものと動かさなくても健康促進効果のある事業を交えて地域住民の健康維持・ロコモ予防に役立つ事業を計画していきます。
- ・居心地のよさ、安らぎを与える植栽環境の維持に引き続き取り組み、花と緑で【GREEN×EXP02027】を共に盛り上げ、館内外の美化とエコ活動へ積極的に取り組みます。
- ・講座終了後、自主活動へ移行しやすいよう数回の会場を優先で押さえるなど、便宜を図りグループ作りを積極的に支援します。
- ・地域企業や法人与積極的に交流し、地区センターの情報を掲示していただくなど情報提供を行い、企業福利厚生の一環としてのセンター利用につなげます。
- ・予約システムについては、事務処理の効率化につながる一層の改善を積み重ね利用者に向けてサービス向上の取り組みをします。
- ・指定管理者による研修を通して、コミュニティスタッフ一人ひとりが清掃業務をより専門的に理解し、清潔感あふれる居場所の維持に努めます。

- ・実務研修を重ねコミュニケーション能力の向上を図り、利用者との相互理解に努め、ホスピタリティーの実践につなげます。
- ・受付・作業の区別なくオールマイティーに業務ができるコミュニティスタッフを目指し全体の資質向上に努めます。

② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

日常の管理運営に、スタッフ職員の創意工夫（節電・節水・こまめな点検による小破修繕、消耗品の在庫管理の徹底）を活かし無理・無駄の少ない業務に努めます。

- ・広報活動の充実（学校連携、ホームページ、ニュースリリース、情報配信など）により利用増につながる運営を継続します。
- ・節水、節電を利用者にも呼び掛け、日々の点検を丁寧にします。
- ・もったいない精神を積極的に推進します。特に破損の頻度が高い体育室個人利用物品については、持参も含めて大切に使用するよう利用者への声かけと、破損した場合も可能な範囲で修理して長く使用することを意識していきます。
- ・LED化したことにより館全体の照度が向上しておりこまめな節電を継続します。
- ・建物・設備の長寿命化を意識し、積極的な日々点検を行い指定管理者の専門的なアドバイスをもとに大がかりになる前の改善を心がけます。
- ・備品、物品の補修や修繕は、安全を確認した上でできるだけ自館対応します。点検は担当を決め、不具合箇所は報告会にて周知することで全員の修繕スキル向上にもつながります。
- ・報告会を通じて、職員全員が館全体の状態を把握していくよう努めます。
- ・図書ボランティアによる本の修繕を行い、図書の維持、管理に努めます。

③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

白山地区センターは通路や裏公園、プランターなどに樹木や花を育てており、散歩がてら写真を撮っている方も多くいらっしゃいます。春はミモザをはじめ横浜緋桜が咲き、初夏はモッコウバラや花水木、秋は金木犀、菊、冬は山茶花やクリスマスローズなど四季をとおしていろいろな花々が咲き、緑豊かな館であることが特徴です。

【GREEN×EXP02027】に向け、センター事業としてのグリーンカーテンづくりや、花のある環境活動にも継続して取組みます。

横浜市が推進する環境対策に従って、ごみゼロルート回収の執行、横浜市の3R運動啓発活動と3R夢プランに則り、小型家電回収ボックスの設置施設として、回収・リサイクルに協力を継続していきます。

- ・利用者へのごみ減量・節電意識の啓発を継続します。
(利用のない場所の節電と、館内におけるゴミ0運動を利用者にも協力をお願いして取り組みます)
- ・小型家電回収ボックスを継続して設置し、地域の皆様の利便性と環境への配慮を意識していきます。
- ・指定管理者・職員による草刈り作業等を実施し、環境・美観を整え、四季折々の花や緑で館内環境を整えます。
- ・食品ロスの削減と食品を通じた社会貢献につながるフードドライブ活動に協力していきます。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

① 職員の配置及び採用について

配置人員	勤務時間
常勤職員 早番 1～2 人	8時45分～16時45分
常勤職員 遅番 1 人	13時15分～21時15分
午前スタッフ 2 人	9時～13時
午後スタッフ 2 人	13時～17時
夜間スタッフ 2 人	17時～21時
作業スタッフ 1 人	7時30分～10時30分
植栽スタッフ 1 人	8時30分～11時30分
1 日の人員数	午前 4～6 人 午後 4 人 夜間 3 人

*採用については、一般公募で地域の方を優先とし、ホスピタリティー精神のある、積極的な、意欲ある方を採用します。

*センター運営における滞りないサービスの提供と、館内の安全、また継続的な人材の育成を図る面でコーディネーターを置きます。

*日常の業務の中で、スタッフはどの時間帯でもその役割を理解し業務にあたるよう指導・育成をします。

② 職員の研修計画について

	研修	内 容
4 月	接遇研修	・ 外部講師による接遇研修
5 月	個人情報/人権研修 避難訓練	・ 個人情報保護研修/人権研修 ・ 避難訓練
6 ・ 7 月	業務改善研修 植栽剪定作業	・ 日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」 ・ 植栽の手入れ/草刈り作業
9 月	業務改善研修	・ 日常業務の振り返りを行い改善につなげる「業務改善研修」
11 月	備品点検	・ 備品点検
12 月	施設設備点検	・ 館内外の施設設備点検（担当別）
1 月	施設設備点検報告会	・ 施設設備点検の結果報告を行い可能な個所の修繕を行う
3 月	全体業務研修 救急対応研修 緊急時対応研修	・ 次年度に向け「運営目標」の確認 ・ 外部講師(消防署)の指導による心肺蘇生法訓練(AED 等) 他 ・ 消防設備機器/避難経路の確認

*研修はいずれも全員参加とします。また日常業務について報告は毎回行います。

③ 個人情報の保護の措置について

個人情報の取り扱いについては個人情報保護条例・個人情報取り扱い特記事項及び地区センター等個人情報保護方針を遵守するよう研修を行います。

- ・ 個人情報についての理解を深め、情報の流出防止・持ち出しの禁止・パソコンの盗難防止など徹底します。
- ・ 図書の予約申し込み、貸出物品等の短期間利用のための個人情報はメモ形式にし、終了時シュレッダー処理をすることにより、必要以上に個人情報を保管しません。
- ・ 団体の情報提供については、原則として本人の同意がある場合以外は開示しません。

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

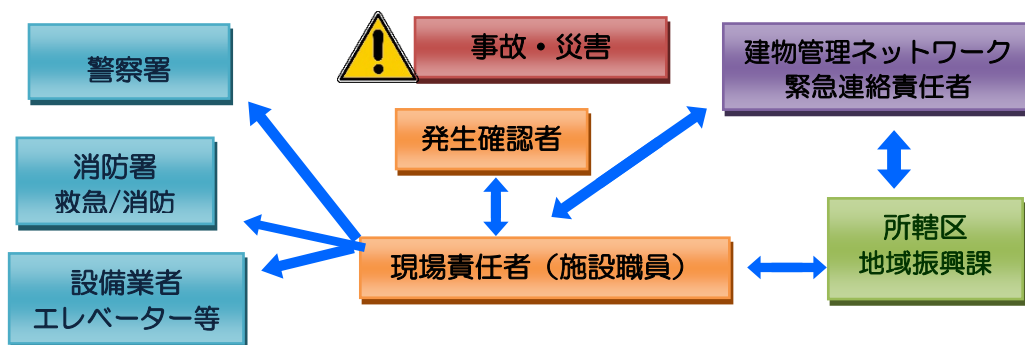
- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

① 防犯、防災の対応について

- ・スタッフが受付を空けることなく、また来館者には必ず声をかけるように努め、日々の業務の中で防犯への意識を持つように心がけます。
- ・職員全員を対象に緊急時を想定したAED操作や救急車要請研修を行い、救急時対応・事故対策に備えます。
- ・防犯カメラの活用・巡視点検（1日7回）・受付時の声かけ・室利用時の室内確認を実施し職員間で報告を徹底し館内の安全管理に努めます。
- ・公共施設の警備については当指定管理者の専門分野であり、緊急時の通報システムの運用や整備対応に万全を期します。
- ・「防災マニュアル」、「災害対応時の手引き」をもとに職員全員で研修を行い、目的把握や理解を深め、水害・地震災害など具体的な事例別に対応が変わることを理解し、職員全員が災害に関して共通のイメージを持てるよう研修、防災訓練を行います。
- ・限定的な人数を災害対応者として指定するのではなく、職員全員が責任感を持ち、自発的に施設に集まり補完施設としての役割を果たせるよう努めます。
- ・一時滞在ナビや防災情報Eメールなど研修時に活用し、発災時に備えます。
- ・緑区帰宅困難者LINE WORKSを活用し、発災時の情報収集、区役所・他補完施設との連携に努めます。
- ・所管の警察署・消防署など関係機関との連携を密にし、対応研修などの指導を受けます。

② その他緊急時の対応について

- ・発災時は区役所の要請に応じて補完施設の一つとしての役割を果たします。
- ・利用者の安全につきましては常に万全を期します。消火・避難誘導訓練、備品確認、備蓄品内容明記など全職員に研修を行い緊急時に備えます。
消耗品として準備しているケガの応急手当物品や乾電池類は、日々の使用物品としてローテーション管理しています。
- ・異状発生に際しては常に区役所と密接・迅速な対応と報告をします。



* 保険：設備賠償責任保険（1億円）・レクリエーション保険（指定管理事業）に加入します。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

① 建物・設備等の保守・点検について

業務		記述
建築物保守管理		①法令で定められた保全業務や機械保全等は専門業者に委託、必要な修繕の実施につなげる (建築設備、エレベーター保守点検、自動ドア保守点検、電気設備保安全管理、防災機器、冷温水機・冷却塔保守点検、空調自動制御装置点検など)
設備機器管理	運転監視	
	日常点検	
定期点検・整備	法定点検	
	予防保全・整備	②日々行う巡視点検にて異常発見に努め、可能な簡易修繕を実施する ③施設点検表を使用し毎年職員全員による担当別設備点検を行い、報告会にて状況を把握し必要な修繕につなげる ④施設利用者による終了時の清掃実施、退出時異常の有無を確認 ⑤施設点検日には専門業者の全館清掃を実施、また毎朝作業スタッフによる日常清掃を実施 ⑥感染症防止対策の一環として共有部分の机等拭き上げ清掃を実施 (一日6回以上)
清掃	定期清掃	
	日常清掃	
環境衛生管理		福祉保健センターの衛生管理指導による実践 レジオネラ等水質管理・害虫駆除
保安警備		職員による日常巡視点検・モニターカメラの設置 夜間など職員不在時は機械警備システム
備品管理		「備品管理台帳」による適切な管理
植栽		専門業者による定期的な樹木の剪定と管理 (年4～5回程度) 草刈りボランティア
廃棄物処理		「横浜 3R 夢」プランの取り組みに協力し利用者への啓発活動実施 (小型家電回収など)

② 清掃業務について

- ・指定管理者の得意分野として、清潔・快適な環境維持を常に意識しこれにつながる提案・相談をし、館の運営に反映していきます。カーペット、フローリングなど床面の維持管理とガラス窓・フィルター清掃等計画的に行い陽当たりが良く清潔で心地よい環境の維持を心がけます。
- ・日常の環境美化清掃については、作業スタッフの他、受付スタッフも研修を実施し、作業・受付の区別なくオールマイティーな仕事のできるスタッフの育成を目指します。

③ 植栽・樹木の維持管理について

- ・定期的な剪定により見通しのよい状態を維持することで、地域の防犯対策に貢献します。
- ・年度初めには植栽の手入れ(管理、剪定、害虫駆除)を専門業者に相談し、委託内容を確認することで、継続的な維持管理と緑豊かな環境作りに努めます。
- ・植栽専任のスタッフを配置し、四季の花々で楽しめる快適な環境を提供します。

2 指定管理事業に関すること

(1) 指定管理事業計画に対する基本的な考え方

- ① 指定管理事業について
- ② 指定管理事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

① 指定管理事業について

地区センターの設置目的に沿い、様々な年代のニーズに応えられるよう、多岐にわたる事業を企画していきます。生涯学習、指定管理者による地域貢献事業、青少年育成に向けた事業、サロンコンサート等のイベントを展開していきます。

活動団体の活性化を目的とした体験講座を企画し、地域デビューや仲間作りのきっかけとなる支援に取り組み、地域ニーズに応え「より利用しやすく参加しやすい地区センター」としての魅力ある事業を実施していきます。

日本の伝統文化を体験し次世代育成、多世代交流につなげていく講座を企画します。

健康促進・生涯学習

ロコモ予防を目的に多様性に富んだ事業を企画します。

- ・ウォーキング基礎講座や夜のヨガ教室など、働く世代に向けた週末や夜の時間帯に開催の講座を企画し、新規参加者やリピーターの増加、定着を目指します。
- ・運動による身体能力の向上と並行して発声や呼吸法で健康維持につなげるボイストレーニング講座を継続実施します。
- ・座学として「日本の古代史とその文化」や「脳トレそろばん体験」等を企画します。
- ・季節の和菓子づくり、韓国料理教室などのバラエティに富んだ食育事業を継続実施していきます。

指定管理者貢献事業

指定管理者による地域貢献事業を継続実施します。

- ・網戸の張替え講座、ハウスクリーニング講座を継続します。

青少年育成・子育て支援

友だちづくりや親子のコミュニケーションをテーマに企画していきます。

- ・スポーツを通じて体力の向上や練習の成果を体感し、地域の仲間との交流を楽しめるように、ショートテニス、バドミントンを実施します。
- ・親子参加のパン教室など、受講後に家庭でも楽しめるような講座を継続します。

伝統文化継承

日本の文化や地域の伝統行事にふれ、文化継承の支援となるように企画します。

- ・地域に根付く郷土芸能「鴨居囃子」の鑑賞会を実施します。新年の獅子舞や、センターまつりなどでも演舞依頼し、目にする機会を作り、郷土の文化に関わるきっかけを作ります。
- ・こども茶道教室を実施します。日本の伝統文化として茶道を体験し次世代育成につなげます。
- ・競技かるたを通じて百人一首を覚え、和歌の美しい世界にふれながら日本の文化を学びます。

白山サロン事業

地域の方々に質の高い音楽に触れて頂き、癒しのひとときとなるよう、プロの演奏家を招き、白山サロンコンサートを実施します。

図書ボランティア事業

緑区読書活動推進事業に沿い、図書ボランティアの活動支援を継続します。

- ・プレイルームでの毎月のお話会の実施やグループ活動の成果を発表する場として、夏休みやクリスマスに読み聞かせイベントを企画します。

プレイルーム利用促進事業

「子育てしたいまち 次世代を共に育むまちヨコハマ」の理念に基づきプレイルームの利用を促進し多くの利用者にプレイルームを体験していただきます。

- ・家族が楽しく交流し思い出に残るようなバルーンアートの制作や土曜のおはなし会など、家族で参加できるプログラムを企画します。

② 指定管理事業の運営方法について

講座の内容については終了後のアンケートから PDCA サイクルによる振り返りを行い、より良い事業を追求していきます。指定管理事業から立ち上げられた団体には部屋の優先利用や会員募集の支援など継続に向け側面からの支援を行います。参加者の負担を軽減することを意識し全体的な収支のバランスを考慮しつつ企画・運営していきます。

③ P R の強化について

地域への情報提供については、ポスター・チラシの館内外掲示や緑区広報などの他に地域企業、緑区活動支援センターへのセンターだより配布、地域タウン紙へのリリース等積極的に働きかけます。また小中学生対象の事業については学校と連携を取り周知を依頼します。HP にてインターネットを活用した情報提供を継続します。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。）

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて
(目標 稼働率 60%)
- (2) 利用料金収入、その他諸収入の増に向けた取り組みについて
(目標 利用料金収入令和4年度実績 10%増)
- (3) 幅広い年齢層を対象とした指定管理事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

- ・ 予約のフリー枠の日数を変更し、予約制限を軽減することでより使いやすい施設としての役割を果たし稼働率・収入アップにつなげていきます。
- ・ 登録団体による体験講座の開催や作品展示を支援し活動内容の紹介と受入れ体制を確保し、団体の活性化につなげていきます。
- ・ 指定管理事業は地域講師の掘り起こしに重点を置き、地域の手による新たな事業の広がりを意識し企画します。
- ・ 指定管理事業から継続して立ち上げた事後グループ活動の支援を丁寧に行い、利用の少ない部屋や時間帯の活用を提案し、より稼働率の向上につなげます。
- ・ 地区センター条例に定められた料金設定を基準とした運営をしていきます。

(2) 利用料収入増に向けた取り組みについて

- ・ 体育室空調設置に伴い今まで利用を控えざるを得なかった夏季、冬季の利用が可能になり、この時期の利用率の低さは解消に向かうことが予想されます。年間を通して今までよりは安定した利用が見込まれるため、より事業の充実を図り、収入増につなげます。
- ・ この機会を有効に使うためにも、抽選で当選団体がキャンセルした場合、競合して落選をした団体に空き情報をお伝えすることとしています。
- ・ 指定管理事業では比較的利用の少ない時間帯の実施を検討すると共に、夜間の時間帯の事業については閉館までの一時間を使う企画も含め、仕事帰りに指定管理事業に参加したい方にとって可能な限り遅い開始時間を提示し退社時間を気にするストレスの軽減に努めます。
- ・ 少人数での楽器練習、学習される方に当日時間貸しを案内するなど、隙間の時間利用で収入につなげます。
- ・ 一定期間集中して活動する団体には「フリー枠」を有効に活用していただくための提案説明をし、利用向上につなげていきます。
- ・ 料理室の目的外使用については継続して周知に努め、本来の目的を損なわない範囲で柔軟な対応を行うことで利用料収入増を目指します。

(3) 幅広い年齢層を対象とした指定管理事業展開に向けた取り組みについて

指定管理事業がニーズに沿った充実した内容であることは参加の継続につながり、指導者にとっても、活動の活発化・地域貢献の一助となります。センターとして地域全体の底上げとなるよう、運営目的の実現に取り組めます。

- ・健康維持につながるような体操系・運動系講座はニーズが高くリピーターも多いため、年間を通し継続して実施していきます。
- ・子どもから大人まで、幅広く参加していただける講座（グリーンカーテン作り、おはなし会など）は地域交流、世代間交流を視野に入れ事業を企画します。
- ・講師掘り起こしを意識し、利用の促進と内容の広がりにつなげていきます。
- ・日本の伝統文化を継承していくきっかけづくりとなる事業を継続します。
- ・子ども対象講座は地域の仲間と集い、交流体験ができるよう、また新たな経験やチャレンジができるよう、登録団体や地域で活動する講師に協力を頂き、様々なジャンルの講座を企画していきます。
- ・親子で過ごす時間を大切にできるよう親子参加型の事業も継続して行います。
- ・地域企業や近隣小学校などより多くの方々に情報を発信し、提供ができるよう努めます。
- ・指定管理者と行うPDCAにより一つ一つの事業に対して丁寧な振り返りと反映を行います。

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

目標達成のため、提案内容を運営の中心に置き、前向きに検討を重ね運営を進めてまいります。

- ・乳幼児から高齢者まで、幅広い世代の居場所としての役割を果たすためにも、諸団体、学校関係、近隣施設などとの地域連携に努め、情報交換を行い見守りにつなげていきます。
- ・指定管理者の特性である建物管理のノウハウを活用し施設の現状をこまめに把握し修繕・改善において正確・的確に対応し長寿命化を念頭に置いた管理を行います。
- ・感染症防止対策については横浜市感染防止ガイドラインを遵守した対策を徹底するとともに、指定管理者の専門分野としての知見をもとに実践していきます。
- ・ICTサービスでは引き続き利用者のご意見を聴きながらより使いやすいものになるよう工夫していきます。
- ・高齢者支援事業として白山連合自治会・民生委員児童委員協議会と連携し、健康福祉マージャンを実施します。

令和8年度 指定事業(指定管理事業)計画書

募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)
				募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料支 出総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	参加費用 (円)	1回1講師 あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)	
成人	土曜の朝太極拳	4月～3月	46	20	920	-62,560	276,000	213,440	有	300	0	0	
成人女性	体幹トレーニング	4月～3月	42	14	588	0	294,000	294,000	有	500	5,790	243,180	
成人	午後の初級エアロビ&リフレッ シュ	4月～3月	43	11	473	0	236,500	236,500	有	500	4,300	184,900	
成人男性	男性のための筋トレ体操(第1 期)	4月～6月	10	25	250	-21,400	125,000	103,600	有	5,000	8,000	80,000	
成人男性	男性のための筋トレ体操(第2 期)	7月～9月	10	25	250	-21,400	125,000	103,600	有	5,000	8,000	80,000	
成人男性	男性のための筋トレ体操(第3 期)	10月～12月	10	25	250	-1,400	125,000	123,600	有	5,000	8,000	80,000	セラバンド購入
成人男性	男性のための筋トレ体操(第4 期)	1月～3月	10	25	250	-21,400	125,000	103,600	有	5,000	8,000	80,000	
成人	はじめよう！ ウォーキング基礎講座(4) 第1期	4月	4	20	80	-21,646	48,000	26,354	有	2,400	5,568	16,705	
成人	はじめよう！ ウォーキング基礎講座(4) 第2期	10月	4	20	80	-21,646	48,000	26,354	有	2,400	5,568	16,705	
成人	はじめよう！ ウォーキング基礎講座(4) 第3期	2月	4	20	80	-21,646	48,000	26,354	有	2,400	5,568	16,705	
小学生～一般	ゴーヤのグリーンカーテンを作 ろう	5月	1	10	10	27,733	2,000	29,733	有	200	0	0	苗・肥料購入
成人	日本の古代史と その文化 春(5)	4月～5月	5	10	50	0	35,000	35,000	有	3,500	0	0	
成人	日本の古代史と その文化 秋(5)	10月～12月	5	10	50	0	35,000	35,000	有	3,500	0	0	

(様式5)

成人	網戸の張り替え体験	6月	1	16	16	0	0	0	無	0	0	0	
成人	ハウスクリーニング講座	11月	1	20	20	0	0	0	無	0	0	0	
成人	知ると安心！身近な法律相談	8月	1	12	12	0	0	0	無	0	0	0	
成人	夏の疲れをリセット 夜のヨガ教室(3)	9月	3	12	36	-1,295	21,600	20,305	有	1,800	5,568	16,705	
成人	一日の疲れをリセット 夜のヨガ教室(3)	3月	3	12	36	-1,295	21,600	20,305	有	1,800	5,568	16,705	
60歳以上	健康のための ヴォイトレ講座 秋(2)	9月	2	15	30	-8,549	30,000	21,451	有	2,000	7,795	15,591	
60歳以上	健康のための ヴォイトレ講座 春(2)	2月	2	15	30	-8,549	30,000	21,451	有	2,000	7,795	15,591	
成人	鴨居周辺歴史散歩(鴨居東本郷 コース)	4月	1	16	16	-1,560	8,000	6,440	有	500	5,000	5,000	
成人	鴨居周辺歴史散歩(鴨居竹山 コース)	5月	1	16	16	-1,560	8,000	6,440	有	500	5,000	5,000	
成人	鴨居周辺歴史散歩(白山コー ス)	12月	1	16	16	-1,560	8,000	6,440	有	500	5,000	5,000	
成人	年末年始を彩る お菓子作り	12月	1	12	12	-3,952	21,600	17,648	有	1,800	5,568	5,568	
成人	本場の味を楽しむ！ 韓国料理教室	2月	1	20	20	-6,720	50,000	43,280	有	2,500	8,000	8,000	
成人	はじめてのハワイアンキルト	10月～12月	5	10	50	0	50,000	50,000	有	5,000	0	0	
成人女性	週末リラックス アロマハンドマッ サージュ	1月	3	10	10	0	21,000	21,000	有	2,100	0	0	
成人	楽しく覚える 大人のための百人一首入門	4月～3月	12	10	120	8,640	36,000	44,640	有	300	0	0	
成人	はじめての包丁研ぎ	9月	1	6	6	-1,379	6,000	4,621	有	1,000	3,341	3,341	

(様式5)

成人	フラダンス体験講座	3月	3	12	36	0	18,000	18,000	有	1,500	0	0	
成人	脳トレそろばん体験講座	2月～3月	3	10	30	0	15,000	15,000	有	1,500	0	0	
成人	白山サロン クリスマスコンサート	12月	1	29	29	-2,130	8,700	6,570	有	300	0	0	
成人	白山サロン スプリングコンサート	3月	1	29	29	-2,130	8,700	6,570	有	300	0	0	
幼児～成人	おもちゃ病院(5月)	5月	1	15	15	1,350	0	1,350	無	0	5,000	5,000	
幼児～成人	おもちゃ病院(8月)	8月	1	15	15	1,350	0	1,350	無	0	5,000	5,000	
幼児～成人	おもちゃ病院(11月)	11月	1	15	15	1,350	0	1,350	無	0	5,000	5,000	
幼児～成人	おもちゃ病院(2月)	2月	1	15	15	1,350	0	1,350	無	0	5,000	5,000	
幼児と保護者	プレイルームでおはなし会	4月～3月	22	10	220	12,000	0	12,000	無	0	0	0	
幼児と保護者	土曜のおはなし会	6月	1	20	20	0	0	0	無	0	0	0	
幼児と保護者	夏のおはなし会	7月	1	20	20	0	0	0	無	0	0	0	
幼児と保護者	クリスマスのおはなし会	12月	1	20	20	0	0	0	無	0	0	0	
幼児～小学生	こどもの日！つくってへんしん バルーンアート体験	5月	1	18	18	3,768	1,800	5,568	有	100	0	0	
幼児～一般	バルーンデイinプレイルーム	10月	1	10	10	1,000	0	1,000	無	0	0	0	
小学生と保護者	親子バドミントン教室	5月	4	10	10	13,760	20,000	33,760	有	4,000	7,000	28,000	
小学生	こどもバドミントン教室 第1期	6月～7月	5	25	125	65,342	62,500	127,842	有	2,500	8,000	40,000	ラケット・シャトル購入

(様式5)

小学生	こどもバドミントン教室 第2期	11月～12月	5	25	125	-10,700	62,500	51,800	有	2,500	8,000	40,000	
小学生	こどもバドミントン教室 第3期	2月～3月	5	25	125	65,342	62,500	127,842	有	2,500	8,000	40,000	ラケット・シャトル購入
小学生と保護者	親子ショートテニス教室	9月	3	10	30	31,460	10,000	41,460	有	2,000	0	0	ラケット・ボール購入
小学生と保護者	親子でパンづくり	11月	1	12	12	848	12,000	12,848	有	2,000	5,568	5,568	
小学生	バレンタインのおかし教室	2月	1	12	12	848	12,000	12,848	有	1,000	5,568	5,568	
小学生	お花のプレゼント！ こどもフラワーアレンジ教室	5月	1	10	10	1,288	10,000	11,288	有	1,000	5,568	5,568	
小学生	お正月まで飾れるクリスマス リースをつくろう！	12月	1	10	10	1,288	10,000	11,288	有	1,000	5,568	5,568	
幼児～一般	ポーセリンアート教室	12月	1	20	20	-640	20,000	19,360	有	20,000	0	0	
小学生～中学生	はじめての茶道体験	3月	4	8	24	6,400	32,000	38,400	有	4,000	5,000	20,000	
小学生と保護者	プレイルームで紙芝居	3月	1	20	20	0	0	0	無	0	0	0	
幼児～一般	鴨居囃子で新年をお祝いしよう！	1月	1	30	30	0	0	0	無	0	0	0	
合 計			305		4822	0	2,200,000	2,200,000	0	103,700	195,701	1,104,968	

指定管理事業別計画書

施設名 横浜市白山地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
土曜の朝太極拳	【目的】 無理なく体を動かす習慣を身につけ、継続的な体力づくりにつなげることを目的とします。年間を通して実施し、地域の健康づくりの場を提供します。	4月～3月 46回
	【内容】 太極拳の基礎を学びながら、心身を整える講座です。初心者も気軽に参加できるよう、事前申込み不要の1回ごとの体験型としています。	週末講座 地域交流 健康増進 シニア支援

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体幹 トレーニング	【目的】 継続した体力づくりの一步となるよう、年間を通して実施します。女性を対象とし、地域での仲間づくりやコミュニケーションの場となることも目的の一つとした講座です。	4月～3月 42回
	【内容】 一般女性対象の講座です。一回ずつ参加できるスタイルで、都合に合わせて参加でき、継続しやすく楽しみながら体幹を鍛えます。初級・中級コースから選択できます。	地域交流 健康増進

事業名	目的・内容	実施時期・回数
午後の初級エア ロビ&リフレッ シュ	【目的】 比較的稼働の少ない午後②の時間帯を活用して行う事業です。年間を通して実施し、継続した体力づくりを目指します。また、講師や参加者同士のコミュニケーションも楽しめる講座を目指します。	4月～3月 43回
	【内容】 初級エアロビ講座。全身の筋力を鍛え、リラクゼーションのストレッチで身体を整えます。一回ずつ参加できるスタイルで、都合に合わせて参加できます。	地域交流 健康増進

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性のための 筋トレ体操 1～4期	【目的】 筋力トレーニングを継続的に行うことで体力の維持・向上を図り、健康寿命を延ばすことを目的とします。あわせて、受講者同士の交流を通じてコミュニケーションの場を広げ、地域でのつながりづくりを促します。	4月～3月 10回(4期)
	【内容】 好評の継続講座。全10回のコースで、多様なメニューを取り入れながら楽しく身体を鍛えます。男性が気兼ねなく参加できる、明るく活気のある講座です。	地域交流 健康増進 シニア支援

(別紙)

はじめよう！ ウォーキング 基礎講座 1～3期	【目的】 姿勢や呼吸法なウォーキングの基礎を教わり、健康増進に 繋がります。幅広い世代の方に参加していただける講座を目 指します。	4月・10月・2月 4回（3期）
	【内容】 プロから姿勢や呼吸法などウォーキングの基礎を教わりま す。	週末講座
		健康増進
		異世代交流
		地域交流

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゴーヤのグリー ンカーテンを作 ろう	【目的】 ゴーヤのグリーンカーテン作りを通して、エコや緑化活動 を身近に感じる機会を提供します。こどもから大人まで幅 広い世代を対象とし、参加者同士の交流も目的とします。	5月 1回
	【内容】 育て方のコツを学びながら、白山地区センター中庭にゴー ヤのグリーンカーテンを設置します。参加者にはゴーヤの 苗を1つずつ持ち帰っていただきます。	異世代交流
		社会貢献
		地域交流
		環境保全

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
日本の古代史と その文化 春・秋	【目的】 テーマに沿い5回コースで日本の古代史について学びます。 知識を深めると共に、講師や参加者同士のコミュニケー ションを大切に、仲間作りにつながる講座を目指しま す。	4月～5月 10月～12月 5回（2期）
	【内容】 全5回を通し、様々な文献、資料から日本の古代文化につい て探り、歴史に親しむ講座です。	
		生涯学習 文化伝承

事業名	目的・内容	実施時期・回数
網戸の張り替え 体験	【目的】 指定管理者による地域貢献事業として、地域の暮らしに役立つ実技講座を無料で提供します。住まいのメンテナンスを自分で行うきっかけづくりを目的とします。	6月 1回
	【内容】 ハウスマンテナンスのプロである指定管理者が、網戸の張り替え方法や道具の選び方を実演を交えて指導します。自宅でも実践できるよう、コツをわかりやすく学べる講座です。	
		社会貢献 地域交流 生涯学習

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハウス クリーニング 講座	【目的】 指定管理者による地域貢献事業として、暮らしに役立つ講座を無料で実施します。家庭での清掃をより身近に感じ、快適な住環境づくりにつなげることを目的とします。	11月 1回
	【内容】 ハウスクリーニングのプロが、効率よく手軽に行える清掃のコツや、洗剤・道具の選び方を実演を交えて紹介します。家庭で今日から実践できる内容です。	
		社会貢献
		地域交流

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知ると安心！ 身近な法律相談	【目的】 日常生活の中で起こりうる法律問題について理解を深め、適切に対応できる知識を身につけることを目的とします。	8月 1回
	【内容】 神奈川県司法書士会から講師を迎え、相続や契約など身近な法律問題をわかりやすく解説します。生活の中で役立つ知識を学べる講座です。	
		イベント
		社会貢献

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
疲れをリセット 夜のヨガ教室	【目的】 団体の活性化、仲間作りを目的とした体験講座です。	9月・3月 3回（2期）
	【内容】 夜の時間帯に、初心者でも無理なく取り組める内容でヨガを実施します。白山地区センターで活動するヨガグループとの共催事業です。	
		健康増進
		団体活動支援
		生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康のための ヴォイトレ講座 秋・春	【目的】 発声練習を通し、免疫力アップや筋力アップなど健康維持に繋がるよう取り組みます。また地域交流や仲間作りの場となっていくよう実施します。	9月・2月 2回（2期）
	【内容】 講師の指導のもと、正しい姿勢や呼吸法を学びながら、発声方法の基本を練習します。	
		健康増進
		地域交流
		生涯学習

(別紙)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
鴨居周辺歴史散歩（年3回）	【目的】 身近な地域の歴史について学び、地域に親しんで頂くことを目的に実施します。地域で活動する歴史ガイドボランティアグループと連携し、実施します。	4月・5月・12月 1回（3期）
	【内容】 鴨居・白山・竹山・東本郷の4地区をエリアごとに散策します。座学とウォーキングを組み合わせた内容で、身近な地域の歴史を学び、史跡を見学します。	アウトリーチ 文化伝承 地域交流 生涯学習

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末年始を彩るお菓子作り	【目的】 季節を感じながら手作りのお菓子づくりに親しみ、家庭でも楽しめるようなきっかけを提供します。あわせて、参加者同士の交流の場とします。	12月 1回
	【内容】 講師の指導のもと、年末年始にぴったりのお菓子作りに挑戦します。作り方のポイントを学びながら、講師や参加者との会話も楽しめる講座です。	
		食育 生涯学習

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本場の味を楽しむ！韓国料理教室	【目的】 韓国料理を実際に作りながら、食文化や言葉など異文化への理解を深めることを目的とします。料理の基本を学ぶことで、家庭でも気軽に韓国料理を楽しむきっかけとします。	2月 1回
	【内容】 講師の指導のもと、本場のレシピで韓国料理を調理し、できた料理を味わいます。韓国語での挨拶や食材の紹介も交え、楽しく学べる教室です。	
		食育 生涯学習

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はじめてのハワイアンキルト	【目的】 団体の活性化、仲間作りを目的とした体験講座です。	10月～12月 5回
	【内容】 初心者を対象にした体験講座です。ハワイアンキルトの基本のモチーフで小物作りにチャレンジします。白山地区センターで活動しているヨガグループとの共催事業です。	
		団体活動支援 生涯学習

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
週末リラックス アロマハンド マッサージ	【目的】 香りとマッサージによるリラックス効果を通して、心身のリフレッシュを図ります。週末開催とすることで、働く世代の女性も参加しやすい講座とします。	1月 3回
	【内容】 アロマオイルを使ったハンドマッサージの基本を学び、自宅でもできるセルフケア方法を体験します。香りに包まれながら、リラックスした時間を過ごします。	週末講座 地域交流 生涯学習

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく覚える 大人のための百人一首入門 (毎月開催)	【目的】 日本の伝統文化である百人一首に親しみ、競技かるたを通して、脳トレ感覚で楽しく記憶力を高めます。参加者同士の交流や地域のつながりづくりを目的とします。	4月～3月 12回
	【内容】 年間通して実施し、各回ごと申込みが可能です。前半は和歌や歌人について講師の解説を聞き、後半は実際に札を使って百人一首を楽しみます。初めての方でも気軽に参加できる内容です。	週末講座 文化伝承 地域交流 生涯学習

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はじめての包丁 研ぎ	【目的】 地域講師に家庭で継続して実践できるよう基本を教わります。また仲間作り、地域交流も目的の一つとします。	9月 1回
	【内容】 家庭で使用している包丁を使って研ぎ方の基本を教わります。	生涯学習 地域交流

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラダンス体験 講座	【目的】 団体の活性化、仲間作りを目的とした体験講座です。	3月 3回
	【内容】 初心者を対象にした体験講座です。基礎からフラダンスを練習します。白山地区センターで活動している団体との共催事業です。	団体活動支援 生涯学習

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレそろばん 体験講座	【目的】 団体の活性化、仲間作りを目的とした体験講座。	2月～3月 3回
	【内容】 指を動かしイメージすることで脳の活性化につながるような、脳トレ感覚で行うそろばん体験講座です。白山地区センターで活動している団体との共催事業です。	
		団体活動支援
		生涯学習

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白山サロン コンサート (冬・春)	【目的】 プロの演奏を、地区センターという身近な場所で聴いていただく地域貢献事業。参加しやすい参加費設定で実施します。	12月・3月 1回 (2期)
	【内容】 プロの演奏家を招いて実施します。 ゆとりのある空間で参加して頂けるよう 一日に2回公演するスタイルで実施します。	
		イベント
		社会貢献
		地域交流

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃ病院 (年4回)	【目的】 壊れたおもちゃを修理して再び使う体験を通じて、ものを大切に作る心を育てることを目的とします。修理の様子を見ることで、ものづくりや工夫への関心を高めます。	5月・8月 11月・2月 1回 (4期)
	【内容】 みどりおもちゃドクターの会に修理を依頼し、故障したおもちゃをその場で直してもらいます。修理の過程を見学してもらいます。	
		社会貢献
		子育て支援
		青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プレイルームで おはなし会	【目的】 白山地区センターの図書ボランティアグループによる絵本の読み聞かせを通して、親子のふれあいの時間を大切にし、絵本に親しむ機会を提供します。地域の子育て支援の一環として実施します。	4月～3月 22回
	【内容】 月2回、子育て支援事業の終了後に、図書ボランティアが季節や年齢に合わせて選んだ絵本を読み聞かせます。親子でゆったりと絵本の世界を楽しむひとときです。	
		子育て支援
		ボランティア育成

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
土曜のおはなし会	【目的】 平日参加が難しい家庭にも絵本の読み聞かせを楽しむ機会を上げ、親子のふれあいと読書への関心を高めることを目的とします。	6月 1回
	【内容】 土曜日にプレイルームで絵本の読み聞かせを行います。図書ボランティアによる読み聞かせに加え、希望する保護者にも絵本を読んでもらう「読み聞かせ体験」の時間を設けます。	子育て支援 イベント ボランティア育成 地域交流

事業名	目的・内容	実施時期・回数
季節のおはなし会 夏・冬	【目的】 幼児を中心に幅広い世代が参加できるイベントとして、絵本の読み聞かせを通じて本に親しむきっかけを提供します。ボランティア団体との共催により、地域の読み聞かせ活動を支え、ボランティアの育成につなげます。	7月・12月 1回（2期）
	【内容】 年2回（夏・冬）に、白山地区センターで活動する読み聞かせボランティア団体と共催し、センター蔵書を中心に絵本の読み聞かせを行います。イベント後は特設コーナーを設けて図書コーナーの魅力をアピールします。	子育て支援 イベント ボランティア育成 地域交流

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもの日！ つくってへんしん バルーンアート体験	【目的】 家族で一緒に楽しみながらバルーンアートを作り、日本の季節行事に親しむ機会を提供します。親子で協力して作品を完成させることで、ふれあいや家族の思い出づくりにつなげます。	5月 1回
	【内容】 昨年に続きプレイルームの利用促進事業として実施します。親子でバルーンアートを作り、講師が用意したバルーンの兜を身につけて自由に撮影を楽しめます。今年は小学生を対象に加え、兄弟で参加しやすくします。	子育て支援 イベント 地域交流 青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
バルーンデイ in プレイルーム	【目的】 プレイルームをバルーンアートで楽しく装飾し、来館者が自由に過ごせる場を提供します。職員による紙芝居の読み聞かせなどを行い、親子で楽しめる交流のひとつをつくります。	10月 1回
	【内容】 プレイルームをバルーンアートで彩り、自由に立ち寄って楽しめる一日とします。職員が随時紙芝居の読み聞かせを行うほか、写真撮影も自由に行えます。参加費無料。	子育て支援 イベント 地域交流 青少年育成

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子バドミントン教室	【目的】 親子で楽しく体を動かしながら、バドミントンの基礎を学び、運動を通して親子のふれあいを深めます。スポーツに親しむきっかけを提供します。	5月 4回
	【内容】 緑区バドミントン協会の講師を迎え、ラケットの握り方や基本の打ち方などを親子で一緒に練習します。ゲーム形式も取り入れ、楽しくバドミントンに親しめる内容です。	異世代交流
		地域交流
		青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもバドミントン教室 1～3期	【目的】 バドミントンの基本を学びながら、体を動かす楽しさを体験し、体力づくりと技術の向上を図ります。練習を重ねる中で「できなかったことができるようになる」喜びを感じ、スポーツを通じて達成感や自信を育みます。	6～7月 11～12月 2～3月 5回（3期）
	【内容】 緑区バドミントン協会の講師を迎え、ラケットの持ち方や打ち方、ルールなど基礎から丁寧に指導します。3期に分けて実施し、繰り返し参加することで技術の定着と上達を目指します。	地域交流
		青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子ショートテニス教室	【目的】 親子で一緒に体を動かしながら、ショートテニスの楽しさにふれることを目的とします。初心者や運動が苦手な子でも安心して参加でき、親子のふれあいの場づくりや地域のスポーツ交流につなげます。	9月 3回
	【内容】 白山地区センターを利用するショートテニス団体の協力により、ラケットの扱い方や基本の打ち方を親子で練習します。柔らかいボールを使い、無理なく楽しめる内容です。	異世代交流
		地域交流
		青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でパンづくり	【目的】 パンづくりを通して食や発酵への理解を深め、親子で楽しみながら学ぶ体験の場を提供します。親子でいっしょに作ることで、協力する喜びやものづくりの達成感を育みます。	11月 1回
	【内容】 地域在住の講師を招き、生地づくりから焼き上げまでを親子で体験します。発酵などの工程を実際に見ながら、パンづくりの仕組みを学べる内容です。子どもでも取り組みやすく、焼きたてパンの香りを楽しめます。	異世代交流
		食育
		青少年育成

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
バレンタインのおかし教室	【目的】 手作りのお菓子づくりを楽しみ、家庭でも作ってみたいくなるきっかけを提供します。作る喜びを共有し、参加者同士の交流を深めます。	2月 1回
	【内容】 講師の指導のもと、バレンタインにぴったりのお菓子づくりに挑戦します。材料の扱い方や仕上げのコツを学びながら、楽しく実践できる内容です。完成したお菓子はお持ち帰りいただきます。	地域交流 食育 青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お花のプレゼント！こどもフラワーアレンジ教室	【目的】 花にふれながら季節を感じ、身近な人への感謝や思いやりを表現する体験を通して、ものづくりの楽しさを学びます。	5月 1回
	【内容】 母の日の時期に合わせて開催し、講師の指導のもと、花材の扱い方や飾り方を学びながらアレンジを制作します。完成した作品は持ち帰り、家族や身近な人への贈り物として楽しめます。	青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お正月まで飾れるクリスマスリースをつくらう！	【目的】 リースづくりを通して季節を楽しみ、飾ることで家族や周りの人に笑顔をお届けします。手づくりの温かさを感じながら、楽しいひとときを過ごします。	12月 1回
	【内容】 講師の指導のもと、クリスマスからお正月まで飾れるリースを制作します。自然素材を活かしたデザインで、初心者でも取り組みやすい内容です。作品は持ち帰って家庭で飾ることができます。	青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ポーセリンアート教室	【目的】 絵付けを通して創作の楽しさを味わい、自分だけの作品を仕上げる喜びを感じます。プレゼントにもぴったりです。	12月 1回
	【内容】 講師の指導のもと、白磁の食器などに専用の転写紙を貼り付けてデザインします。初心者でも取り組みやすく、完成した作品は焼き上げ後に持ち帰ります。	青少年育成

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はじめての茶道教室	【目的】 敷居が高いと思われがちな茶道を、気軽に体験できる機会として開催します。日本の伝統文化や礼儀作法にふれながら、落ち着いて人と向き合う心を育てます。	3月 4回
	【内容】 講師の指導のもと、茶道の基本的な所作やおもてなしの心を学びます。幅広い層に参加してもらえよう、対象に中学生を加えました。実際にお点前やお菓子をいただく体験を通して、和の文化を楽しく体験します。	
		文化伝承
		青少年育成

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プレイルームで紙芝居	【目的】 紙芝居の読み聞かせを通して、子どもたちが物語の世界に親しむ時間を提供します。	3月 1回
	【内容】 職員がプレイルームにいる親子や子どもたちに向けて紙芝居を読み聞かせます。短時間で気軽に楽しめる内容とし、来館者とのふれあいの場をつくります。	
		子育て支援
		イベント
		地域交流

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鴨居囃子で新年をお祝いしよう！	【目的】 地域で受け継がれてきた伝統文化「鴨居囃子」を多くの人に知ってもらい、見てもらう機会とします。身近な伝統にふれることで関心を深め、次世代への継承につなげていきます。	1月 1回
	【内容】 新年の節目に、鴨居郷土芸能保存会（鴨居囃子連）による演奏と舞を披露します。鴨居囃子の歴史や曲の由来、踊りの意味の紹介も行い、地域の人々が守り続けてきた伝統文化を間近で楽しめる催しです。	
		イベント
		文化伝承
		異世代交流
		地域交流
		青少年育成

令和8年度 「横浜市白山地区センター」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	44,597,000		44,597,000		44,597,000	横浜市より
利用料金収入	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
指定管理事業収入	2,830,000	0	2,830,000	0	2,830,000	
事業への参加料等	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
印刷代	90,000		90,000		90,000	
自動販売機手数料	310,000		310,000		310,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他	230,000		230,000		230,000	
雑入	0	0	0	0	0	
自主事業（A型・B型）収入 (自主事業還元分)			0		0	
その他			0		0	
収入合計	51,427,000	0	51,427,000	0	51,427,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,001,000	0	26,001,000	0	26,001,000	
給与・賃金	24,055,000		24,055,000		24,055,000	
社会保険料	1,791,000		1,791,000		1,791,000	
通勤手当	107,000		107,000		107,000	
健康診断費	30,000		30,000		30,000	
勤労者福祉共済掛金	18,000		18,000		18,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	2,417,000	0	2,417,000	0	2,417,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	410,000		410,000		410,000	
会議旅費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	15,000		15,000		15,000	
通信費	210,000		210,000		210,000	
使用料及び賃借料	826,000	0	826,000	0	826,000	
横浜市への支払分	101,000		101,000		101,000	
その他	725,000		725,000		725,000	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	52,000		52,000		52,000	
職員等研修費	30,000		30,000		30,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	395,000		395,000		395,000	
手数料	405,000		405,000		405,000	
地域協力費	34,000		34,000		34,000	
事業費	2,200,000	0	2,200,000	0	2,200,000	
指定管理事業費	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
管理費	12,753,000	0	12,753,000	0	12,753,000	
光熱水費	6,686,000	0	6,686,000	0	6,686,000	
電気料金	3,094,000		3,094,000		3,094,000	
ガス料金	3,050,000		3,050,000		3,050,000	
水道料金	542,000		542,000		542,000	
清掃費	844,000		844,000		844,000	
修繕費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
機械整備費	246,000		246,000		246,000	
設備保全費	3,777,000	0	3,777,000	0	3,777,000	
空調衛生設備保守	1,596,000		1,596,000		1,596,000	
消防設備保守	123,000		123,000		123,000	
電気設備保守	151,000		151,000		151,000	
害虫駆除清掃保守	55,000		55,000		55,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	1,852,000		1,852,000		1,852,000	
共益費			0		0	
公租公課	2,906,000	0	2,906,000	0	2,906,000	
事業所税			0		0	
消費税	2,840,000		2,840,000		2,840,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）	66,000		66,000		66,000	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	3,810,000	0	3,810,000	0	3,810,000	
本部分	3,810,000		3,810,000		3,810,000	
当該施設分			0		0	
二一対応費	1,340,000		1,340,000		1,340,000	
支出合計	51,427,000	0	51,427,000	0	51,427,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支						
管理許可により行う事業費収入						
管理許可により行う事業費支出						
管理許可により行う事業収支						

令和 8 年 3 月 6 日

横浜市長

(指定管理者名) 特定非営利活動法人建物管理ネットワーク
(指定管理者代表者名) 理事長 谷川弘一

横浜市白山地区センターの指定管理に係る一部業務の令和 8 年度外部委託予定について

横浜市白山地区センターの指定管理に係る一部の業務について、令和 8 年度は次のとおり外部委託したく、横浜市白山地区センターの管理運営に関する基本協定書第 22 条の規定に基づき、協議します。

	委託予定先	業務内容	委託理由	契約方式	その他
1	大成興業(株) ((株)齊藤商会)	定期清掃、害虫駆除	専門業者	随意契約	
2	京浜警備保障(株)	機械警備	専門業者	随意契約	
3	三洋装備(株)	設備総合巡視点検	専門業者	随意契約	
4	大成興業(株) (東テク(株))	空調自動制御装置点検	専門業者	随意契約	
5	大成興業(株) (パナソニック産機システムズ(株))	吸収冷温水機、冷却塔保守点検	専門業者	随意契約	
6	大成興業(株)	冷却塔薬注装置点検、水質検査	専門業者	随意契約	
7	大成興業(株)	冷却塔レジオネラ属菌検査	専門業者	随意契約	
8	中央エレベータ工業(株)	昇降機保守点検	専門業者	随意契約	
9	大成興業(株) ((株)神奈川ナブコ)	自動ドア保守点検	専門業者	随意契約	
10	大成興業(株) ((株)東横防災商事)	消防設備保守点検	専門業者	随意契約	
11	関東電気保安協会	電気設備点検	専門業者	随意契約	
12	大成興業(株)	貯水槽清掃、水質検査	専門業者	随意契約	
13	東農園	植栽管理	専門業者	随意契約	
14	三洋装備(株)	空調加湿器清掃・レジオネラ属菌検査	専門業者	随意契約	

令和 8 年度（横浜市白山地区センター）自己評価表

目標設定 の 視 点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己 評価
利用者 サービス	事業計画書 (2)イ 地域特性、地域ニーズ に記載しているもので、対象年度に行う予定のも 健康維持のため運動環境の向上を意識し、シニア世代はもとより成人 全体で比較的運動実施率の低い働く世代・子育て世代に参加して頂け るような講座を企画。 また地域の伝統文化継承の支援となる事業を計画し生涯の学びの場と なるものや地域連携を軸に計画していく。			
	ウ 公の施設としての管理 安全安心・清潔を保ち快適な居場所づくりに努める。 環境整備を専門とする指定管理者の指導の下、設備・衛生管理を丁寧 に行っていく。 区、他館との情報・意見交換を行い風通しのよい公平公正な運営に努 める。マナーを守り、公共施設を大切に利用する意識の共有に努める。 GREEN×EXPO 2027” の開催が近づく中、共に盛り上げ四季を感じられ る緑と憩いの場としての役割を果たしていく。			
	(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映 利用者会議、センター委員会、「利用者の声」、報告書の意見欄、アン ケート等によりニーズを収集分析し運営に反映させていく。 日々利用者とのコミュニケーションを図り、ニーズを収集、ホームペ ージやセンターだより等のツールを生かし運営に反映していく。			
	オ 利用者サービス向上の取組 安全安心な利用のために必要な衛生管理を行い、ホスピタリティ精神 に基づいた豊かで質の良いサービス提供につなげる。 環境面では“GREEN×EXPO 2027”を共に盛り上げ、グリーンカーテン など四季を感じられる緑と憩いの場としての役割を果たしていく。			

	接遇研修、ヒヤリハット研修を実施し、業務へのフィードバックを行いスキルアップに努める。 ホームページではタイムリーな情報提供を行い、ウェブアクセシビリティの取り組みを継続する。 指定事業の参加費については、受益者負担の観点から適正なコストの設定をする。 利用後のアンケートや意見欄、利用者会議などからニーズを把握し、改善・サービス向上に努める。 抽選時競合し落選した団体に対し、キャンセル発生時には積極的に連絡し利用につなげていく。			
業務運営	事業計画書 (3) ア 管理運営に必要な組織、人員体制 に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの 提案書に則り適正な人員体制で運営する。			
	ウ 緊急時の体制と対応計画 日常的に緊急時対応ができるよう、外部講師（緑消防署・緑警察署等）による AED 操作及び心肺蘇生法の研修、初期消火訓練、避難訓練、消防防火設備の把握、不審者対応訓練を計画。 また、防犯カメラの活用・巡視点検・声かけ等日常的な館内の把握を習慣づける。発災時における帰宅困難者対応の一環として、備蓄品の使い方の確認等を行うと共に「一時滞在施設 N A V I」をスタッフ全員が操作できるよう指導する。			
	(4) ア 設置理念を実現する運営内容 「誰もが気軽に集える施設」であるよう館内の美化・整理整頓や緑の環境を整え、明るく居心地の良い雰囲気づくりに努める。 サロンコンサートやセンターまつり等を実施し地域コミュニティ醸成につなげる。 小型家電回収ボックス・フードドライブ活動・グリーンカーテン作り			

	など環境対策への取り組みを継続する。 地域小中学校、地域企業と連携し、児童、生徒の学習発表の場や、働き世代の健康維持・福利厚生の場として幅広い市民の利用施設となるよう努めていく。			
	イ 利用促進策 地区センターからの情報発信（ホームページ・地区センターだよりや事業案内チラシ等）とWeb予約の定着をめざす。 近隣企業へ地区センターの周知をし、福利厚生の一助としての利用、あるいは連携を模索し多角的な視点からの指定事業につなげる。 プレイルームの利用促進に向け指定事業を企画、新規利用につなげる。 図書についてはテーマ別の特設コーナーを定期的に企画し、さまざまな種類の本が手に取りやすい場づくりをしていく。 事前申込不要や週末実施の講座を企画、新規参加とリピーターの確保に努める。 近隣企業や郵便局へのセンターだよりの発行、近隣小学校への指定事業ちらし配布のお願いなど、地域への協力の呼びかけを継続する。			
	キ 本市重要施策に対する取組 子育て支援、青少年の育成、高齢者支援を意識し事業を展開していく。 “GREEN×EXPO 2027”に向け、「花と緑のあふれる」地域づくりを目指し、敷地内の植栽管理に継続して力を入れる。 小型家電リサイクル、インクカートリッジリサイクル、フードドライブ活動への協力等を引き続き行い、ヨコハマ3R夢プラン推進につなげる。 よこはまウォーキングポイントのリーダー設置を継続。			
	ク アイデア提案を募った項目（該当施設）			
	(5) 指定事業（指定管理事業）計画 幅広い年齢層それぞれが参加しやすいきめ細かな事業を企画し、地域住民の健康促進、地域参加、イベント事業を展開していく。 地域連携、ロコモ予防、仲間作りや地域デビューのきっかけ作りとなるような事業を計画する。			

	講座の継続的な参加を促すため、事業ごとに「次につながる」案内を積極的に行い、切れ目のない参加機会の提供に努める。 健康維持に向けた講座はボイストレーニングなど運動以外のバリエーションを増やして実施していく。 指定管理者による地域貢献事業として、ハウスメンテナンス、クリーニング講座を継続して実施する。 青少年育成、子育て支援を目的とした講座では親子の絆を深めるもの、友だち作りのきっかけとなるような講座、また地域の伝統文化伝承に関わる講座を企画していく。 図書ボランティア育成を継続し、活動の支援に努める。 地域貢献事業として、プロの演奏家によるサロンコンサートを企画する。			
	(6) 施設の維持管理計画 日々の巡視点検と定期的な施設安全度確認点検を行い、タイムリーな修繕と長寿命化を意識した計画修繕を明確にし、優先順位を立てて実行していく。 指定管理者の専門知識を生かし、業務巡回時の指導・提案を受け、施設の維持と環境の向上につなげる。 効率的かつ効果的な定期清掃をめざし、PDCAに則った維持管理を行う。 経年劣化の進んだ設備に関しては現状の確認をとりながら、行政やメーカーへの相談を継続していく。			
職員育成	事業計画書 (3) ア 管理運営に必要な組織、人員体制 に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの ローテーション勤務と指定管理者を中心としたPDCAシステムの実施。			
	イ 個人情報保護等の体制と研修計画 接遇・個人情報保護・人権等振り返りを含む研修、ヒヤリハット事例			

	など、状況に応じて実施。			
財務	事業計画書 (6) 施設の維持管理計画（における効率化の工夫） に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの 経年劣化がみられる設備の更新・衛生管理上の改善等を実施。 大規模修繕を回避できるように可能な修繕は行っていく。 経年劣化の進んだ設備に関しては継続して稼働状況の確認をとり、行政やメーカーへの相談を継続していく。			
	(7) ア 収入計画の考え方 予算 利用料収入 4,000,000 円 指定事業収入 2,200,000 円 目標稼働率 60%			
	イ 増収策 館内外の整備や衛生管理を積極的に行い、安心して利用できるよう努めると共に、引き続き 50 日フリー枠の周知、料理室の目的外使用による利便性向上とロコモ対策の一環とした事業計画の推進。キャンセル発生時の抽選落選団体へのフォローを実施。			
	ウ 支出計画 光熱水費や消耗品等の管理を徹底し、無駄のない支出を心がける。			
	(4) カ ニーズ対応費の使途（地区センターのみ） センターまつり、サロンコンサート事業費、美化環境費、図書費、体育室利用物品購入費、修繕費、衛生管理用品のための消耗品費等に支出予定。 継続して多角的に還元することを意識して支出していく。			

その他 (上記4 つの視点 以外の項 目があれば追記)				
利用者等 の意見				

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載